

夢実現



日向市立美々津中学校

校長 崎田 浩二

天の川 海の南へ 流れけり

正岡子規

正岡子規の俳句です。子規は、明治以降の近代俳句・短歌の基礎を築いた歌人です。

奈良・平安・鎌倉時代に隆盛した和歌は、江戸時代になると次第に文学的な色合いが薄れ、庶民を中心に権力や時代に対する批判や皮肉を込めて詠まれる風刺的な「川柳」や「狂歌」など、大衆的な色合いを濃くしてきます。また、鎌倉時代の末期から、短歌の五・七・五を独立させた「俳諧の発句」(俳句)も江戸時代になると初期・中期に松尾芭蕉や小林一茶・与謝蕪村等を中心に盛んに詠まれるようになりました。しかし、江戸も後半になると、浮世絵や滑稽本、歌舞伎などが流行し、俳句や短歌は、次第に衰退していきました。

子規は、このように一時期廃れた短歌・俳句を近代期(明治期)に再び文学的な価値を高めたことで有名です。また、日本に初めて野球の普及に貢献したことで有名な人物です。例えば、ベースボールを最初に「野球」表記したのは、子規と言われますし、各ポジション名、バッター＝打者、ランナー＝走者、ファーボール＝四球、フライ＝飛球など、野球に関する用語の日本語化にも貢献したと言われてています。

そんな子規ですが、本業の短歌・俳句も数多くの名作を詠み、幾多の明治・大正期の歌人達に影響を与えています。この俳句も以前教科書に載っていた美しい俳句です。夏の夜空の主演と言えば、『天の川』でしょう。織女(織姫)・牽牛(彦星)の話でも有名ですよね。『天の川』をじっくり見上げると何とも言えないロマンが広がってきます。夏の夜空には、他にも美しい星が輝いています。夏の大三角形(こと座のベガ、はくちょう座のデネブ、わし座のアルタイル)は、ひときわ目立つ星々です。またさそり座の主星アンタレスは、赤く輝く少し不気味でエキゾチックにさせる星ですよね。

生徒の皆さん、また保護者の皆さん、花火も好きですが、ぜひ、疲れたときや気分転換に星空を見上げてみてはいかがでしょうか?『天の川』を見るときには、この子規の俳句を思い出して見て下さい。美々津の夜の海の彼方へ天の川が続いている光景は、きっと疲れた心や傷ついた心を癒やしてくれると思いますよ。

楽しく充実した修学旅行でした!

2年生が、7/10(火)~7/13(金)の期間修学旅行に行きました。6月の大阪地震、7月に入っての大雨と洪水被害で、出発できるのかどうか心配でしたが、あらゆる情報を集めて、生徒の安全性を確認した上で、出発に踏み切りました。10日夕刻にフェリーで宮崎港を出発した生徒達は、11日はUSJで楽しく過ごしたよ



うでした。翌 12 日は、建仁寺での座禅体験の後、京都市内の班別自主研修に出かけました。初めての京都で、班によっては、道に迷ったり紆余曲折があったりしたようですが、全員無事に旅館にたどりついたようでした。

13 日は、平等院鳳凰堂を参拝した後に大阪城を見学し、難波地区（心斎橋付近）で昼食をとり、全員元気に宮崎に帰ってきました。西日本豪雨のために、災害や被害に遭われた方々には申し訳ありませんが、本校の修学旅行に関して言えば、好天に恵まれ、子ども達も素晴らしい体験をして帰って来ました。

7/18（水）体育大会の結団式でした！

この日の 5 校時は、第 72 回体育大会に向けての結団式を行いました。実行委員長の赤松翼さんを中心に、副実行委員の河埜佑都君、黒木莉琉さん、黒木ひよりさんらが、結団式の計画と運営を行いました。団色決めでは、「絆ぐるぐるリレー」と「万歩&マンボ」の二つの対戦ゲームを行いました。両団とも団長・リーダーを中心に楽しみながら、大いに盛り上がりました。

【右は結団式の様子】→

赤団 団長：黒木 崇道君 **青団** 団長：橋口 弘征君
副団長：黒木 香楠さん 副団長：新名樹莉亜さん

上記の実行委員 4 名と団長・副団長の 4 名が中心となって、素晴らしい体育大会になると確信しています。

是非、保護者そして地域の皆様、お問い合わせの上 9 月 15 日（土）は、美々津中学校グラウンドへお越しください。

美々津中学校生徒・職員一同でお待ちしています。

1学期も本日で終了です！

早いもので、1 学期も本日で終わりとなります。

入学式で 3 学年が揃い、平成 30 年度がスタートしたことが、つい昨日のように思い起こされます。

わずか 3 ヶ月半ではありますが、子ども達は、あらゆる面で成長してくれています。授業中の態度、清掃への取組、学校内外でのあいさつ等、学校職員のみならず、地域の方々からお褒めの言葉を多々いただきました。部活動の活躍などにつきましてもしばしば、動向や応援のお言葉をいただきます。そのようなお言葉をいただく度に、本校生徒をととても誇らしい気がするのと同時に、学校から近いところに地域の方々がいてくださるのだなと感じています。時に、荒れた学校になると地域の方々の姿やお声が見えなく、また聞こえなくなることもあります。保護者の方々をはじめ、地域の方々にも美々津中学校生は、常に見守られていることを改めて実感するとともに、このことを職員や生徒にも伝えていき、地域を思い、大切に子ども達の心を育てていきたいと考えています。

早いもので、1 学期も本日で終わりとなります。入学式で 3 学年が揃い、平成 30 年度がスタートしたことが、つい昨日のように思い起こされます。わずか 3 ヶ月半ではありますが、子ども達は、あらゆる面で成長してくれています。授業中の態度、清掃への取組、学校内外でのあいさつ等、学校職員のみならず、地域の方々からお褒めの言葉を多々いただきました。部活動の活躍などにつきましてもしばしば、動向や応援のお言葉をいただきます。そのようなお言葉をいただく度に、本校生徒をととても誇らしい気がするのと同時に、学校から近いところに地域の方々がいてくださるのだなと感じています。時に、荒れた学校になると地域の方々の姿やお声が見えなく、また聞こえなくなることもあります。保護者の方々をはじめ、地域の方々にも美々津中学校生は、常に見守られていることを改めて実感するとともに、このことを職員や生徒にも伝えていき、地域を思い、大切に子ども達の心を育てていきたいと考えています。

★ 本校は、8 月 1 日（水）が登校日となっています。この日に学校だよりの増刊号を出す予定です。2 学期以降の行事等については、そこに詳しく記す予定です。今後とも美々津中学校を宜しく願います。



本年度スローガンです！ ↑



団色決めの対戦ゲーム ↑

【6/24：参観日・家庭教育学級の様子】↓

